

地域に頼られる病院に

日野病院で看護の日イベント



出席者が土をかける



年長児も大きくなあれと水やり

5月10日、日野病院で看護の日のイベント「看護の日記念植樹」が行われました。

植樹されたのは、平成11年に知事公舎からオシドリの餌として届いたドングリを、オシドリグループの森田順子さんが育てた『シラカシ』の木で、平成19年、オシドリ撮影に來られた高田宮久子妃殿下たかまたのみやひさこがお手植えされたものです。同グループの森田さんは「日野病院から植樹の話があったとき、すぐこの木だと思いました。日野病院と共に大きくなってほしい」と笑顔を見せました。

場所は駐車場入り口で、ツツジと共に植えられています。記念植樹を企画した同病院の生田哲二事務局長は「良く目立つ場所に植えることができました。今は3メートルほどですね。実ったドングリは拾い、オシドリ観察小屋に届けたい。大事に育てます」と喜びました。

看護の日のイベントとは、ナイチンゲール生誕の5月12日を含む1週間を看護週間として「看護の心をみんなのところに」をメインテーマに、全国各地で開催されている催しです。

高校生、頑張ってます

日野高ショップが開店



多くの人が荒神神楽に見入る



笑顔を見せながら一生懸命接客する

日野高校の生徒たちが作った野菜や草花、農産物加工品などを低価格で販売する「日野高ショップ」が、5月11日、町商工会館前の一番館で開かれ、この日を楽しみにしていた多くの人でにぎわいました。

この日が今年度の開店初日。開店セレモニーとして、全国大会や海外公演を控えている同校郷土芸能部が荒神神楽を披露し、会場を盛り上げました。

新鮮な色とりどりの草花、農産物加工品の販売が始まると、目当ての品を買い求める地域住民らが、レジの前に長蛇の列を作るなど大盛況でした。

販売を担当するのは、情報ビジネス系列の3年生。接客は授業として行われており、生徒は初めての接客に、緊張した面持ちで一生懸命対応しました。

また、開催日には、セルプひのバザーも開かれ、地域住民と交流を深めていました。

日野高ショップは、5月から12月までの第2土曜日に、町商工会館前（根雨）で開かれます。皆さん、お出かけください。



訓練の成果を披露

町消防団操法大会



団員が迫力ある操法を披露する

消防団員が消防ポンプの操作技術を競う町消防団操法大会が、5月12日、ひのっこ保育所で開かれました。

町内3つの分団の選手が、ポンプ車进行操作して標的に向かって放水、それを終了するまでの規律動作や時間などを競いました。

日ごろの訓練で身に付けた技術を披露した結果、第1分団が優勝しました。

【結果（順位）】

1位Ⅱ第1分団 2位Ⅱ第3分団
3位Ⅱ第2分団

元気なアユを放流

子どもたちが稚アユを放流



「大きくなってね」と放流する

5月20日、黒坂カワコふれあい公園で、ひのっこ保育所の年長児15人が、稚アユの放流（町水産振興連合会主催）を行いました。

7〜8センチに成長した稚アユは元気いっぱい。子どもたちは「ピチピチ跳ねてる」と歓声を上げながら放流しました。今回放流されたのは一万匹以上で、上流へ向け元気に泳いでいきました。

同連合会の皆さんは「今年のアユは元気が良い。大きくなるのでは」と期待しました。

田植え歌の響く田んぼに笑顔があふれる

下上菅地区で田植えと代満しろみで交流会

都市消費者と里山の生産者に田植えを通して、里山の素晴らしさや厳しさを体験してもらいたいと、5月19日、下上菅地区内の水田で、田植え・代満で交流会（里山元気塾主催）が開かれました。

当日はあいにくの雨でしたが、町内外から参加者と地元住民、学生人材バンクの学生の総勢50人が交流しました。上菅地区に伝わる田植え歌を聞きながら、田んぼの両側で引かれるひもに合わせ、苗

を4、5本ずつ丁寧に植えていました。

米子から参加した80代の女性は「嫁いだころのかすりを着て参加したが、雨が降って披露できません。楽しい」と笑顔を見せました。

田植え後の代満で交流会では、山菜料理などが準備され、参加者らは春の味覚に舌鼓を打ちながらゆっくり交流を楽しみました。



上菅に伝わる田植え歌が披露される



おいしい山菜料理に話も弾む